

会社:1月期改定からコロナ・雪害により大幅な減収で黒字が難しい状況にある!

組合:次年度黒字を計画しているならばベアを人件費に盛りこめるはずだ!

2022JR総連春闘

第2回交渉～要求の根拠～

中央本部は3月1日に「2022JR総連春闘第2回交渉」を行って来ました。

要求の根拠

- ①新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、JR貨物グループにおいても感染拡大しており、濃厚接触者についても多数発生していることから現業機関において業務の支障を来しかねない状況となっている。そのような中でも、鉄道貨物輸送の社会的責任を果たすため、相次ぐ自然災害による輸送障害が出て、安全・安定輸送に努め収入確保をしてきている!
- ②全国で若年退職が後を絶たない。退職理由に「人事制度の不安・不満」「低賃金や労働条件」などがある。要員不足の中での若年退職は更なる要員不足に拍車をかけている!
- ③昨年度は物価上昇していないとの会社の認識によりベアゼロとなったが、10月以降物価上昇しており、賃金(初任給含めて)が低い青年部には死活問題である。来年度黒字を計画しているのであれば、ベアは実施できるはず!
- ④本社は「コロナ対策は惜しまない」と言っているが、支社一職場間のやり取りがうまくいっていない。職場の声を止めているようにしか見えない!
- ⑤「内部留保金は使えない」というが、内部留保金の定義は一体何なのか。経団連は「将来的な備蓄と将来への投資に使用するもの」と回答していることから「人への投資」はできるはずだ!

物価上昇してからの実績判断では遅い!!

青年部の生活を困窮させないためにもベアで生活を保障すべし!!